

佐賀大学の案内

地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して

令和2年4月2日
国立大学法人佐賀大学

御挨拶

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、ご家族並びに関係者の皆様、おめでとうございます。

このたび晴れて、佐賀大学に入学された皆さんは、本日から大学生としての第1歩を踏み出すこととなります。

佐賀大学では皆さんがこれからの学生生活を通して、多くのことを経験し、研鑽を積み、社会に羽ばたいていけるよう、様々なサポート体制を整えています。

ここでは、皆さんの大学生活がスムーズにスタートできるよう、“佐賀大学”についてご紹介します。佐賀大学をもっと理解して、皆さんの学生生活がより良いものとなるよう、オリエンテーションとともに積極的に活用して下さい。

これからの大学生活を通して、皆さんが大きく成長することを期待しています。

令和2年4月2日
佐賀大学長 兒玉 浩明

M E N U

introduction

1. 佐賀大学の概要

教育

2. 佐賀大学の学士課程教育
3. 教養教育の充実（副専攻）
4. 佐賀大学における教学マネジメント
5. 附属図書館の活用（ラーニング・コモンズ）

グローバル化に向けて

6. 英語教育の充実
7. 海外への派遣留学支援

学生支援

8. 学生への経済支援
9. 学生相談の窓口

就職支援

10. キャリア教育・就職支援の充実

研究

11. 高度な学術研究活動

社会連携

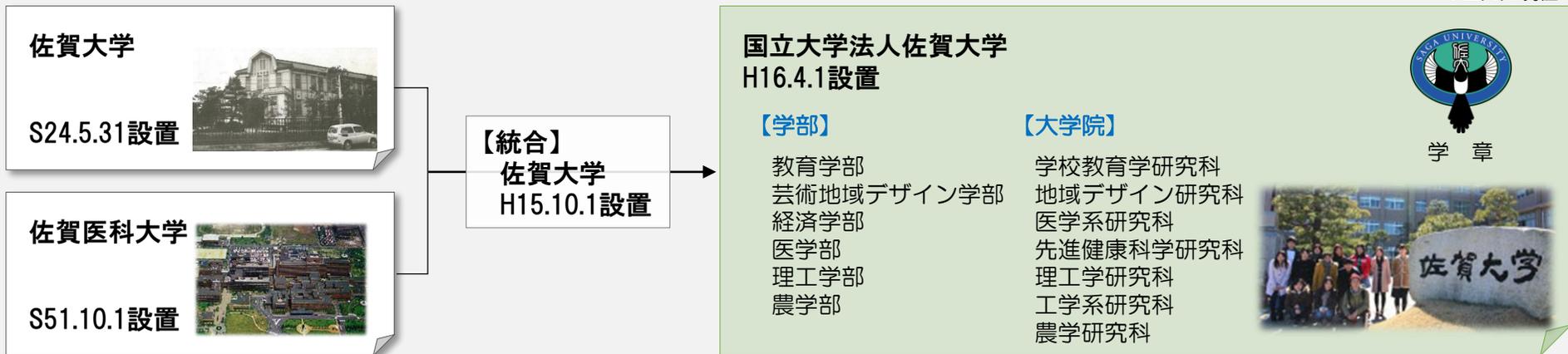
12. 自治体等との相互協力協定
13. 佐賀大学美術館（統合10周年記念事業）
14. 医学部附属病院の再整備
15. 佐賀大学基金への寄附のお願い

未来に向かって

16. 佐賀大学のこれからービジョン2030ー

1. 佐賀大学の概要

沿革



学部学生

5,841人

大学院学生

766人

教職員数

2,710人

学びの場：本庄キャンパス&鍋島キャンパス

東京ドーム 11個分



マスコットキャラクター
カッチーくん

2. 佐賀大学の学士課程教育

皆さんがこれからの大学教育において、どのような能力を身に付け、社会に羽ばたいていくのか。佐賀大学では、皆さんが卒業時まで身に付けるべき能力を「佐賀大学学士力」として定めています。

学士課程教育とは、学部で行う教育のことです。大学院に進学すると「修士課程教育」、「博士課程教育」とステップアップしていきます。

佐賀大学学士力

佐賀大学では、**基礎的及び専門的な知識と技能**に基づいて**課題を発見し解決する能力**を
 培い、個人として**生涯にわたって成長し**、**社会の持続的発展を支える人材を育成**します。

項目

身に付けるべき能力（観点）

基礎的な知識と技能

市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能

市民社会の一員として思考し活動するための技能

専門分野に必要とされる基礎的な知識・技能

課題発見・解決能力

現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力

プロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力

課題解決につながる協調性と指導力

個人と社会の持続的発展を支える力

多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力

地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力

高い倫理観と社会的責任感



佐賀大学学士課程教育のイメージ

教養教育				専門教育		
大学入門科目	共通基礎科目	基本教養科目	インターフェース科目	基礎科目	実験・演習・実習科目	卒業論文・卒業制作 卒業研究

これらを学んで

佐賀大学
学士力を獲得！



3. 教養教育の充実(副専攻)

2019年度から新たに副専攻を開講しています。各学部で修得する主専攻に加えてさらに副専攻を修得することは、学問的な幅の広さと多様性の証明になります。一つの専攻だけでなく、さらに自分が得意とする分野を持つことが、現在の多様化する社会で活躍できる鍵となるでしょう。

サブスペシャルティコース(6コース)

プログラミング・データサイエンス



デジタルコンテンツ



芸術と社会



実践栽培



歴史文化



英語コミュニケーション



各コースそれぞれ4科目・8単位を設定



副専攻

上記で履修した科目を除くサブスペシャルティコースの中から2科目・4単位を受講

副専攻修了(合計6科目・12単位)

4. 佐賀大学における教学マネジメント

佐賀大学では、皆さんに提供する教育の質の向上に向けて、教学マネジメントに取り組んでいます。
教学マネジメントとは、大学の教育目的を達成するため、教育の点検・評価を行い教育活動の見直しに活用することで、その質を向上させることです。

学長のリーダーシップの下、学位プログラム（カリキュラム）毎に以下の**教学マネジメントを確立**

教学マネジメントの出発点

三つの方針の策定

「卒業（修了）の認定に関する方針（DP）」 「教育課程の編成及び実施に関する方針（CP）」 「入学者の受入れに関する方針（AP）」

主な取組事項

具体的な取組

1. 三つの方針を通じた学習目標の具体化

- 学部・研究科毎に教育の目的、養成する人材像等を明示
- 履修モデルの策定 など

2. 授業科目・教育課程の編成・実施

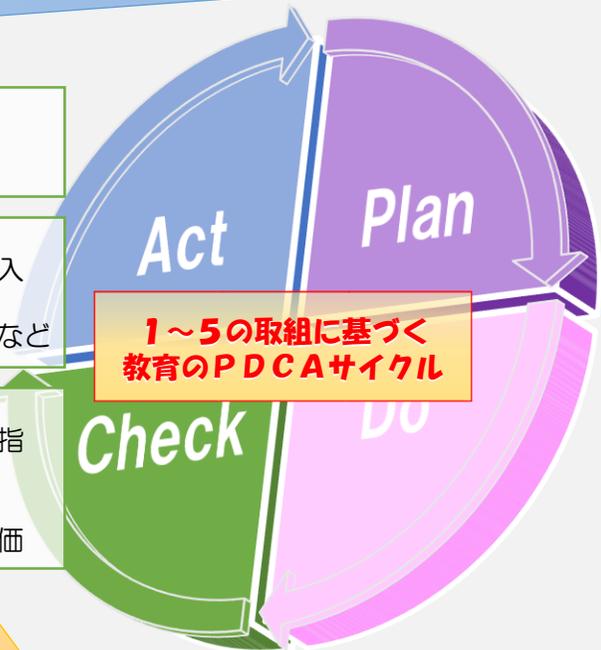
- シラバスで授業の到達目標、授業計画、成績評価基準を明示
- アクティブ・ラーニング（グループ・ワーク等の能動型授業）の積極的導入
- 主専攻・副専攻制度の導入（サブスペシャリティコース（別掲））
- キャップ制（教育の質を担保するための学期等毎の履修上限）の導入 など

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化

- ポートフォリオ学習支援統合システムによる学修支援（ティーチングポートフォリオ、ラーニングポートフォリオ、チューター指導、大学院教育研究指導、教職カルテ）
- GPA制度（成績に評点を付す客観的な評価指標）による客観的な成績評価
- シラバスで授業の到達目標、授業計画、成績評価基準を明示 など

4. 教学マネジメントを支える基盤

- FD・SDの実施：教員、職員の教育能力の向上に向けた研修等の取組
- 教育コーディネーター、ティーチング・コモンズによる授業改善に向けた取組 など



社会からの信頼と支援

ワンポイント
「三つの方針」とは佐賀大学学士力の獲得に向けて佐賀大学がどのような教育をしていくかを定めたものです。
<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhausin.html>



5. 教育情報の公表

• 公表することにより、社会から評価【教育情報の公表】
<http://www.saga-u.ac.jp/koukai/education.html>

5. 附属図書館の活用（ラーニング・commons）

附属図書館は、「知に会う」「ともに学び、創造する」「さまざまな居場所」をコンセプトにラーニング・commons（学びの空間）を整備しています。皆さんのこれからの教育活動に積極的に活用して下さい。

さまざまな図書資料（蔵書数約70万冊）



多様な学習スペース



図書館オリエンテーション・講習会

授業の1コマを利用して、新入生向けの図書館オリエンテーションを実施しています。

【本館】

図書館の利用法（アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた内容）
（令和元年度の参加者数 1,023名）

【医学分館】

館内案内や OPAC（蔵書検索）
My Library（図書館ポータル）
の使い方
（令和元年度の参加者数 166名）



講習会の様子

また、学部3年生以上向けを対象とした講習会として、文献データベースの検索や文献の入手方法を中心とした演習も行っています。

学生の主体的な学び支援するため、学習スペースやマルチメディアコーナー等の様々な学習スペースを整えています。

研究成果の発信

教員や大学院生等の研究成果をラーニング・commonsに展示し、研究成果の発信を支援しています。よりテーマに関心を持ってもらうため、関連図書の展示も行っています。



「雲仙・島原の多文化研究学内報告会」の研究成果と関連図書の展示風景



附属図書館のホームページ <https://www.lib.saga-u.ac.jp/>



6. 英語教育の充実

第4次産業革命やSociety5.0といった社会構造の変化によって、社会からは、地域・国を超えて活躍できるグローバルな人材が求められています。佐賀大学では、グローバル人材の育成に向けて、英語教育、海外への留学支援等を充実させています。

TOEIC® の全員受験

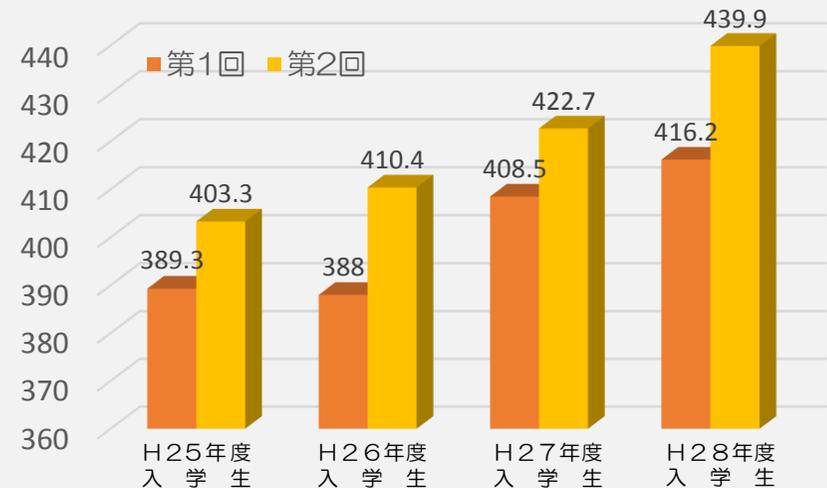
佐賀大学では、学生に明確な学習目標を与え、自律的持続的学習を促すことで、英語ができるグローバル人材を育成することを目指して、2013年度から学部入学者全員に2回のTOEIC®の受験を義務付けています。

学部学生は、1年次前学期と2年次後学期の2回の受験が義務付けられており、2回目のスコアは英語の授業成績に反映される仕組みとなっています（医学部は1年次に2回受験し、両方のスコアが授業の成績に反映されます。）。

全体のテスト結果は、ホームページで公表しています。

URL：<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/toEIC.html>

全学生のスコア（平均点）の推移



留学支援英語教育カリキュラム（ISAC）

佐賀大学では、英語教育の徹底指導のため、留学支援英語教育カリキュラム（ISAC：International Study Abroad Curriculum）を開設しています。

ISACは、一定の英語力と留学への意欲がある学生を対象としており、定員は1学年40名程度で、履修希望者を対象に選抜テストを実施します。

ISACでは、**外国人教員による授業を通し、原則として3年間で留学及び国際交流に必要な英語能力と知識を身に付け**ます。さらに留学後も英語力及び異文化交流力の維持・向上を目指すことを目標としています（留学を義務付けるものではありません。）。



外国語学習のためのマルチメディア教室

7. 海外への派遣留学支援

佐賀大学では、充実した英語教育を基盤として海外留学の支援にも力を入れています。海外留学に憧れがある一方で、語学力不足等の不安から、躊躇してしまう学生も少なくありません。そんな皆さんのために、佐賀大学では様々な海外留学プログラムを準備しています。

ここで、代表的なプログラムを紹介しますので、まずは10日間程度の短期留学から始めてみて、グローバルな自分に成長するための一歩を踏み出してみましょう。

SUSAP (短期海外研修プログラム)

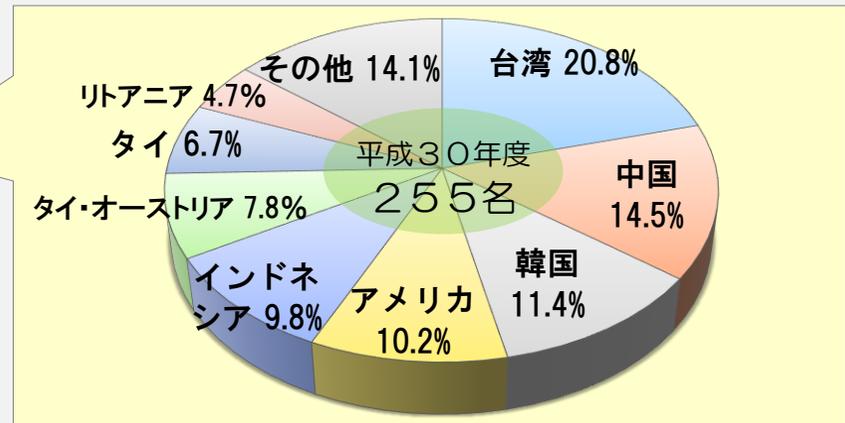
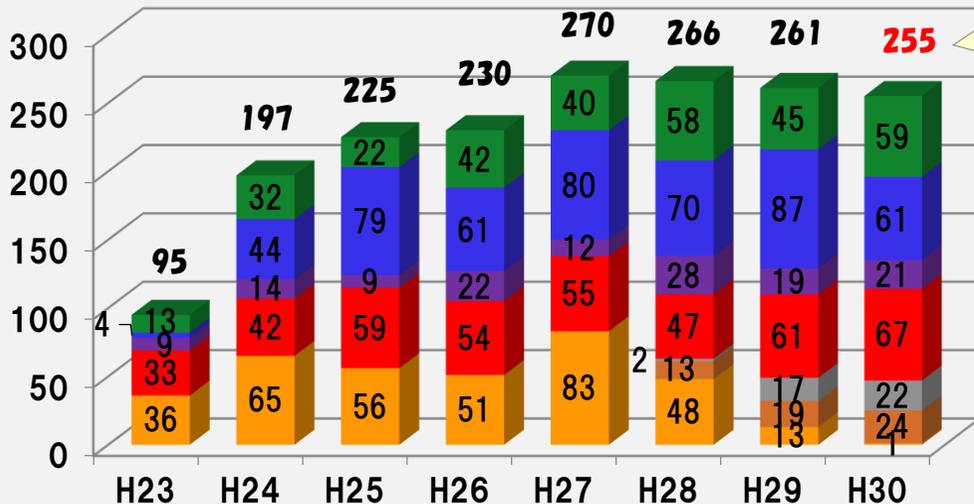
佐賀大学では海外協定校との連携により現地授業への参加、ボランティア活動、異文化交流などの様々な経験できるSUSAP (Saga University Study Abroad Program) を行っています。留学期間は、1か月程度の短期間となっています。



交換留学 (Student Exchange Program)

佐賀大学は世界20カ国77大学と交流協定を締結しています。これらの協定校へ大学の推薦を受けて派遣される留学を「交換留学」といいます。留学期間は、1学期間又は1年間です。

派遣留学生数



- 文化教育学部・教育学研究科
- 芸術地域デザイン学部・地域デザイン研究科
- 医学部・医学系研究科
- 農学部・農学研究科
- 教育学部・学校教育学研究科
- 経済学部・経済学研究科
- 理工学部・工学系研究科

※ 留学の種類には、派遣交換留学、短期海外研修及び学術交流協定校主催プログラム並びに部局プログラムがあります。

8. 学生への経済支援

佐賀大学では、意欲ある学生の皆さんに対して経済的な支援を実施しています。経済支援の大きな柱となるのが「入学料・授業料免除」と「奨学金制度」です。

この他にも、入学料・授業料の徴収猶予制度等の支援があります。

2020年4月から新しい就学支援制度が導入されます。学部1年生は、新制度（進級時も同様）の、学部2年生以上の学生（大学院学生も含む。進級時も同様）は従来の支援制度の対象となります。

制度の変更で不明な点は学務部学生生活課へお問合せ下さい。



新しい就学支援制度が始まります！

意欲ある学生の皆さんを支援するため、2020年4月から新制度がスタートします。

新制度では、授業料・入学料の免除/減額と、返還を要しない給付型奨学金が支給されます。

授業料・入学料の
免除/減額



給付型奨学金の
支給

令和元年度の支援実績：

令和元年度は従来の支援制度となります。令和2年度では2年生以上の学部学生、大学院学生が対象となります。

入学料・授業料免除

経済的理由で入学料・授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生には、**納付額を免除**する制度です。

区分	学部	大学院	計
授業料全額免除	1,003人	176人	1,179人
// 半額免除	461人	118人	579人
入学料全額免除	0人	5人	5人
// 半額免除	0人	0人	0人

[令和2年3月現在]

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金（令和2年3月現在）

区分	日本学生支援機構		
	学部	大学院	合計
第一種	1,653人	231人	1,884人
第二種	1,102人	20人	1,122人

※ 第一種 [利子無] 1,659人, 第二種 [利子有]

9. 学生相談の窓口

悩みや不安があるときは、**まずは相談**して下さい。さまざまな窓口をご用意しています。

大学生活は、自分の勉強したいこと、やりたいことを自由に行うことができます。その反面、自分の居場所が見つからなかったり、自分のやりたいことと現実のギャップに悩んだりすることがあるかもしれません。そんな時は、一人で悩まずに相談窓口にご相談下さい。

学生なんでも相談窓口

キャンパスライフにおける悩み、困っていることの内容に応じてアドバイスしたり、学内外の相談員を紹介する窓口です。

カウンセラー相談窓口

心や身体の相談、疑問や悩みなどについて、専門のカウンセラーに相談ができます。

身体・精神上の相談

保健管理センターでは、身体的、心理的、精神的（就学上、対人関係等）な相談ができます。

ハラスメント相談

セクハラ、アカハラ、パワハラをはじめとした様々なハラスメントに相談員が対応します。

チューター（担任制度）

各学部において学生ごとにチューター（担任）がつきます。修学、進路選択、心身の健康などについて、相談してみてください。

キャンパス・ソーシャルワーカー

何らかの理由で講義等に出席できない学生や特別な支援が必要な学生に対してキャンパス・ソーシャルワーカーが必要な支援をします。

主な相談内容

■ 学生生活について

授業がわからない、大学生活になじめない、ゼミで浮いている、コミュニケーションができない、相談するところがない。

■ その他

詐欺にあった、交通事故にあった、不審な勧誘があった、不審者に付きまとわれている。

■ ハラスメントについて

性的な言動を受け不快である、教育研究の場における優越的な地位を利用した嫌がらせを受け、困っている。



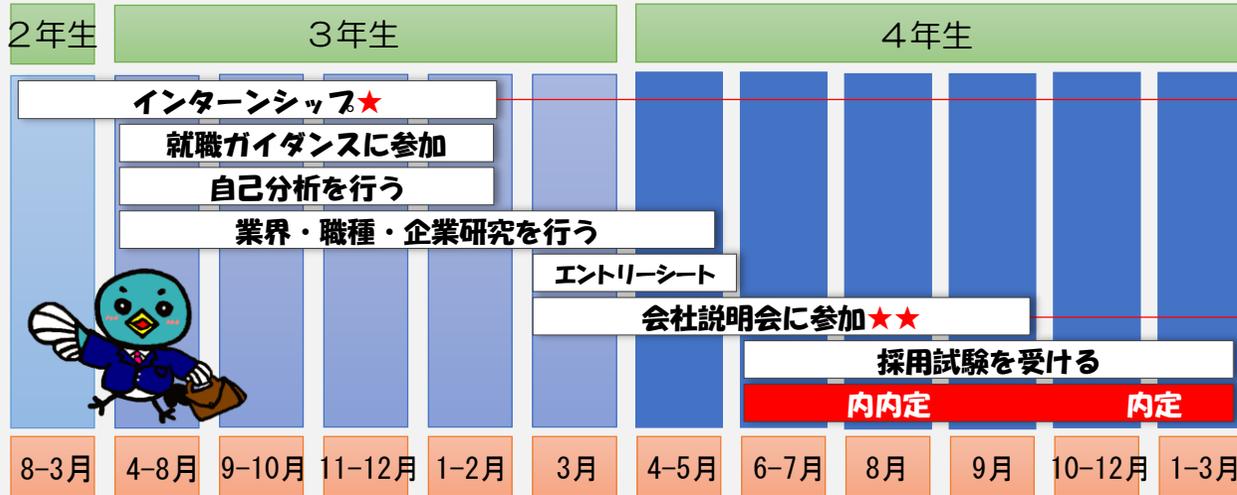
佐賀大学
学生支援室
集中支援部門

悩みを抱える学生、病気や障害を持った学生や発達障害がある学生に対して、大学生活が円滑に送れるよう、集中的にサポートします。

10. キャリア教育・就職支援の充実

佐賀大学の最大の使命は、皆さんを社会から求められる人材に育成することです。佐賀大学では、そのために入学後の早期からキャリア教育を開始し、そして就職活動中に至るまで、在学期間を通じた様々な支援を行っています。

就職活動スケジュールとサポート事業



充実のサポート事業（一例）

インターンシップ

- ・企業で仕事をしながらの体験就業
- ・佐賀県庁，佐賀銀行，JR九州等で実施(H30年度)

会社説明会

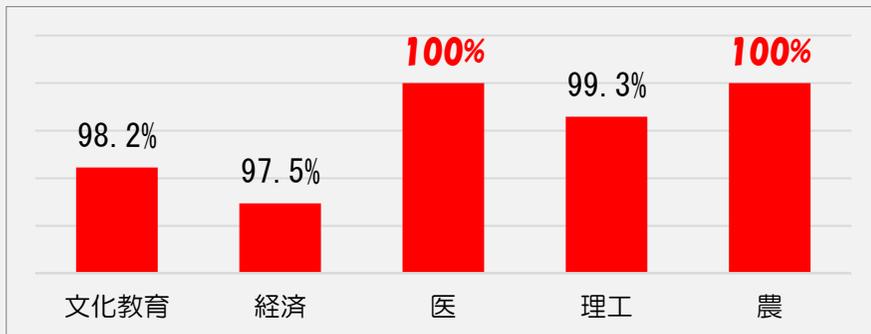
- ・学内において会社説明会(個別・合同)を実施
- ・個別112社，合同436社が参加(H30年度)

就職支援プログラム

- ・民間志望：キャリアデザイン講座／SPI対策講座／面接指導 等
- ・公務員志望：公務員セミナー／公務員試験ガイダンス／公務員試験対策講座 等
- ・教員志望：教員試験対策講座／願書・自己PRの書き方 等

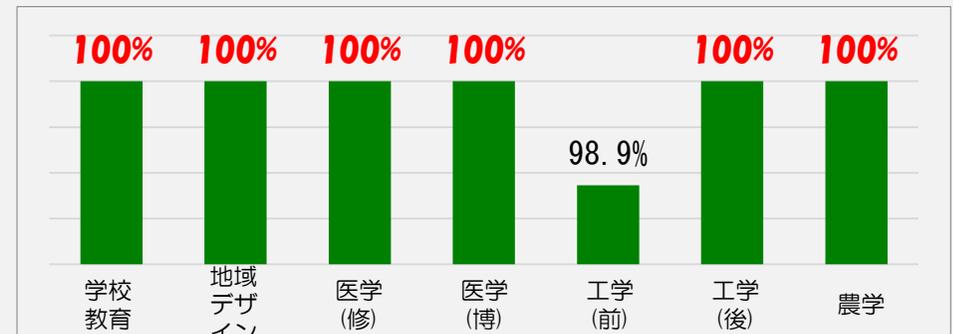
部局別就職率(平成30年度)

学部



注) 芸術地域デザイン学部はR1年度から卒業生を輩出

大学院



就職率：就職者数／就職希望者

11. 高度な学術研究活動

佐賀大学では、国立大学法人として高度の学術的研究を行い、学術研究水準の向上に寄与しています。研究成果の向上のため、特定の研究分野は拠点化して研究センターとしています。また、地域に根差した大学として、佐賀地域固有の課題等に対する研究に取り組んでいます。

文部科学省 共同利用・共同研究拠点

【海洋エネルギー研究センター】

海には、豊富なエネルギーが様々な形で蓄えられています。これらを有効に取り出すことで、化石燃料に代わる、環境にやさしいエネルギーとしてその利用の推進が期待されています。海洋温度差、波力、潮流、洋上風力などの海洋再生可能エネルギーの発電に関する研究を行っています。



九州唯一のシンクロトロン光利用拠点

【シンクロトロン光応用研究センター】

シンクロトロン光による世界的な研究の推進、及び最先端の科学技術や手法、装置などの開発研究を通じて、将来を担う人材の教育・育成、未来技術の開発、知的資産の活用、新産業創出・産業高度化等の産官学連携拠点を目指しています。



佐賀地域の歴史・文化研究

【地域学歴史文化研究センター】

グローバル化が進む21世紀。私達は自らが生きる地域の歴史・文化・風土を見つめ直し、未来への展望を開かねばなりません。考古学、国文・文献学、地域史、史料学、洋学・思想史の4研究部門による基礎研究をもとに、地域の固有性と普遍性を探求し、新たな学問体系としての「地域学」を創造します。



芸術と科学の融合

【肥前セラミック研究センター】

窯業の地域文化を基盤とした陶磁器・セラミック産業界と協働して、芸術・科学・マネジメントが融合した国際的学術・研究拠点を形成することにより、地域の活性化に貢献することを目標としています。とくに地元肥前窯業界を中心に、関係機関との連携により「やきものイノベーション」の創出を目指します。



佐賀大学では、様々な研究グループ、研究者個人による研究を行っています。佐賀大学の研究活動ガイド、研究業績等をデータベース化して公開しています。

研究活動ガイド：<https://researcher.admin.saga-u.ac.jp/>

教員活動データベース：<http://research.dl.saga-u.ac.jp/search/index.html?lang=ja&template=template1>

12. 自治体等との相互協力協定

佐賀大学は、自治体等との相互協力協定を締結することにより、各市町が抱える固有の諸課題の解決に向けて、大学の多様な知的資源を活用し、教育と研究の両面から連携して活動を進めることで、地域社会の活性化に寄与することを目指します。

教育・文化・生涯学習、人材育成

地域振興・産業振興の向上

情報化社会の構築

地域医療・福祉の向上

佐賀県工業連合会
[H29.7.14]

地域産業の発展
地域人材の育成・確保
学術研究の振興
研究成果の社会活用
産学連携の推進



唐津市
[H18.10.21]



佐賀市
[H19.11.29]

佐賀市, 筑波大
[H28.8]

藻類バイオマスの特性を活かした地域の発展及び
地域産業の創生

農研機構
[R1.5.22]

世界中、どこでも、いつ
でも、誰でも簡単に使える
医療デバイスの開発



鳥栖市
[H23.11.10]

(株)サガン・ドリームス
[H23.12.8]

スポーツを通じた地域づくり
ひとづくり まちづくり
夢づくり



有田町
[H30.12.13]

教育・研究の展開, 文化振興,
地域振興等の分野で相互協力
し, 地域社会の発展・人材の育
成に寄与



小城町
[H17.12.20]
*現 小城市



佐賀大学

(株)佐賀銀行, (株)佐銀キャピ
タル&コンサルティング
[H29.12.11]

地域の産学金連携推進
企業・地域社会の発展



鹿島市
[H18.7.19]



佐賀県農業協同組合中央会
[H26.3.31]

- ① 産学連携による食関連事項の研究
- ② 人・自然・環境に基づく地域共生
の取組とPR活動
- ③ 地産地消を基軸とした食の提供

「佐賀県における産学官包括連携協定」
[H20.10.10] (通称:6者協定)

佐賀県, 佐賀県市長会, 佐賀県町村会,
佐賀県商工会議所連合会, 佐賀県商工会連合会

佐賀県
[R1.10.8]

再エネ等の研究開発や市場開拓を進
めることで, 県内の関連産業創出を
加速 (CIREn)



(株)オプティム
[H29.5.30]

研究, 人材育成を通じた地域の
発展及び地域産業の創出

13. 佐賀大学美術館（統合10周年記念事業）



日本で**ここだけ**！ 国立総合大学の「美術館」

佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年を記念して、平成25年10月2日に開館。

併せて整備された正門エリアとともに、新しい佐賀大学の顔として、開かれた、市民に愛される施設として様々な事業を行っています。



1階 展示室



ブリッジ



中庭



プロムナード

各種イベントの様子



【DRAWING2】

本学の芸術地域デザイン学部小木曾准教授の新作40点余を中心に、米村特任助教、ゼミの学生約10名の作品により構成された展覧会です。100点以上の作品を展示しました。会期中は小木曾准教授によるギャラリートークも開催し、多数の参加者に向けて、制作の裏話や作品への思いをお話しされました。

【佐賀の近代日本画】

佐賀の「日本画」の始まりとして幕末・明治期から、現在までの日本画の様相を辿る展覧会です。佐賀における「日本画」がいかに変容してきたかを紹介し、同時に新しい絵画生成の場を示す試みを行いました。会期中は展覧会に関連した様々なイベントを開催し、多くの方にご参加いただきました。

14. 医学部附属病院の再整備

病院理念：患者・医療人に選ばれる病院を目指して

病院目標：「地域医療への貢献」，「良き医療人の養成」，「高度医療技術の開発研究」

病院再整備の最近のtopics

平成30年度より外来診療棟の改修工事を開始していましたが，令和元年9月に外来診療棟正面外壁，正面玄関出入口及び総合外来の改修が完了し，正面玄関出入口は9月30日から，総合外来は10月7日からそれぞれ運用を開始しました。総合外来は新しい玄関を入れて右手に位置していますが，完成したばかりの広く，明るい清潔なスペースで日々診療を行っています。



正面玄関と佐賀錦をモチーフにしたルーバー

佐賀大学では，より一層地域医療へ貢献し，質の高い医療の提供を確実に進めていくために医学部附属病院の再整備を進めています

地域の基幹病院としてのスペースの確保，質の高い医療を目指した中央診療機能の拡充及び病棟機能の向上，スタッフ教育・研修機能を強化して職員の資質の向上を目指します



外来診療棟再整備後の完成予想図

15. 佐賀大学基金への寄附のお願い

佐賀大学基金は、地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して、教育・研究・社会貢献及び国際交流の一層の推進を図ることを目的としています。大学が持続的に発展していくための安定的な財源確保に必要不可欠なご支援です。ご寄附は、銀行窓口によるお振込みの他、クレジット決済などWEB決済システムもご利用いただけます。

佐賀大学基金

学生の教育、研究、海外活動、就学等の支援や若手研究者の学術研究や国際交流等の支援等に活用します。

佐賀大学美術館募金

2013年10月に誕生した「美術館」のより良い運営のために活用します。

院内保育所事業基金

附属病院の院内保育所「佐賀大学病院保育園キッズパレット」の運営のために活用します。

課外活動支援基金

学生の課外活動支援のために活用します。

修学支援基金

意欲・能力を持ちながら、経済的理由により修学が困難な学生を支援することを目的とし、授業料又は入学料の全部又は一部を支援する事業、奨学金を給付する事業を行います。



様々な形の寄附を受け付けています。

- 土地、建物、有価証券などの資産による寄附を受け付けています。
- 所有されている資産の一部を将来遺贈として寄附したいと思われる方へ、信託銀行と提携して手続きを行います。

本学へのご寄附に対しては、税制上の優遇措置が受けられます。

- ① 個人の皆様：※所得控除等、住民税控除（佐賀県内にお住まいの方）
※修学支援基金へのご寄附については、確定申告の際に「所得控除」もしくは「税額控除」のいずれか有利な方を選択できます。
- ② 法人様：寄附金の全額を損金算入

詳しくは

佐賀大学基金 [検索](#)



SAGA UNIVERSITY
国立大学法人

佐賀大学基金

<http://www.kikin.saga-u.ac.jp/>

国立大学法人佐賀大学
基金事務局
(佐賀大学総務部内)

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
TEL 0952-28-8390 / FAX 0952-28-8118
9:00~12:00 13:00~17:00 土日祝除く
E-Mail kikin@mail.admin.saga-u.ac.jp

志，挑戦，そして未来へ

▶ [佐賀大学のこれからービジョン2030ー](#) 

▶ [VISION BOOK 2030](#) 

2030年に向けて目指す大学像

- 佐賀大学に関わる人々が **誇れる大学**
- 佐賀大学で学びたいと **選ばれる大学**
- 地域社会から **期待，信頼される大学**

今から10年後。社会はどのように変化しているのでしょうか。わずか10年ですが第4次産業革命やSociety5.0といった新しい社会の到来に代表されるように、予測困難な時代が続くことは疑いないでしょう。

佐賀大学では、その果たすべき役割や方向性について、「これから」を示す羅針盤として「佐賀大学のこれからービジョン2030ー」を策定しました。

本ビジョンの実現のためには、皆さんの協力が必要不可欠です。佐賀大学の未来を共に切り拓いていきましょう。

